

令和 8 年度

物品番号 第 1 4 号

医療機器等（X線骨密度測定装置）購入
仕様書

【納入場所】

おいらせ町 上明堂 1－1 地内

（国民健康保険おいらせ病院）

おいらせ町

医療機器等（X線骨密度測定装置）購入仕様書

1. 適用範囲

本仕様書は、おいらせ病院（おいらせ町）が購入する医療機器等（X線骨密度測定装置）（以下、「医療機器等」という。）に適用する。

2. 目 的

骨粗鬆症の診断・治療にあたっては、骨密度を測定・評価することが効果的であり、また同一部位における骨の微細な変化を長期間にわたって比較し、経過観察することが何よりも重要である。地域医療における骨健康管理、特に高齢者の生活の質（QOL）維持に不可欠な精密検査ツールとして導入するものである。本装置は、DXA法と呼ばれる最も精度の高い測定を行うことができるものである。

3. 種 類

下記仕様のとおり。

4. 規 格

下記仕様のとおり。

5. 購入数量

医療機器等 1 式

6. 納入場所

おいらせ町上明堂 1－1 地内（国民健康保険おいらせ病院内）

7. 納入条件

貴社手配の運送により、指定場所へ運搬取卸し設置まで行うこと。

8. そ の 他

- ・納入日時は、担当者と協議し決めること。
（通常業務への影響を最小限に抑えた日程とする。）
- ・機器の搬入時は、担当職員の指示に従い安全に配慮し行うこと。
- ・機器が通常使用できるまでの費用は貴社負担とすること。
※ただし、DICOM接続費用及び同時曝射防止機能取付け費用は除く。
- ・機器が正常に稼働することを確認し、機器の操作説明を行うこと。

- ・ 機器導入に係る公官庁等への届け出に関する技術資料の提供
（装置の仕様及び線量測定結果など）に協力すること。
- ・ 導入１年以内の故障等は無償とし、速やかに修復対応すること。
- ・ 納入時に発生する養生材、梱包材等は持ち帰ること。
- ・ その他仕様書に記載されていない事項等が発生した場合は担当者と協議の上決定すること。

【種類・規格】

項 目	内 容
製 品	■ X線骨密度測定装置（据付、調整等を含む） <input type="checkbox"/> 型式：ALPHYS-LF <input type="checkbox"/> 数量：１式
機 器 構 成	■ 本体（ALPHYS-LF） ■ PC（解析ソフト付）及びプリンタ ■ 補助テーブル ■ DICOM ストレージ関係 ■ DICOM MWM関係 ■ 同時曝射防止機能
機 能 仕 様 ・ そ の 他	１）測定部については、下記の条件を満たすこと。 １）－１ 測定原理はX線広角ファンビーム方式・DXA法であること。 １）－２ X線エネルギー発生方式は管電圧切換方式であること。 １）－３ 使用管電圧は75kV / 120kVであること。 １）－４ X線検出器の素子数は512以上であり、広角ファンビームによるワンパススキャン方式の測定ができること。 １）－５ 測定対象部位は腰椎、大腿骨であること。 １）－６ 測定時間は標準測定で腰椎40秒以下、大腿骨で20秒以下(片足)であること。また、高速測定で腰椎20秒以下、大腿骨10秒以下(片足)であること。 １）－７ 測定精度はCV1%以下であること。 １）－８ キャリブレーションは別途ファントムを用いないこと。 １）－９ DICOM通信機能を有し、DICOM MWM、DICOM M

	<p>PPS、DICOM STOREに対応していること。</p> <p>1) - 1 0 他のX線撮影装置との同時曝射防止機能を有すること。</p> <p>1) - 1 1 一般撮影装置のX線管との干渉や被検者が乗降を容易にする為、アームにチルト機構を有すること。</p> <p>2) 制御部については、下記の条件を満たすこと。</p> <p>2) - 1 操作表示が日本語で簡易に操作できること。</p> <p>2) - 2 解析機能として下記以上を有すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 診断メッセージ出力 2. トレンドグラム作成 3. コンペアモード 4. 画面レイアウトカスタマイズ 5. 検査事前予約 6. 検査結果一覧表作成 <p>2) - 3 腰椎自動解析機能を有し、椎間線の位置及び角度の設定を自動で行い、解析結果を表示できること。</p> <p>2) - 4 制御部PCを配置するためのパソコンラックを有すること。</p> <p>3) その他</p> <p>3) - 1 走査装置の外形寸法は幅620mm、奥行1100mm、高さ1300mm以下であること。</p> <p>3) - 2 走査装置の総重量は180kg以下であること。</p> <p>3) - 3 走査装置は移動が容易なキャスター(車輪)を有すること。</p> <p>3) - 4 走査装置の電源はAC100Vであること。</p> <p>3) - 5 保守体制が十分整い、県内にアフター体制があること。</p>
--	---

	<p>3) - 6 撮影時に必要な補助テーブルを有すること。</p> <p>3) - 7 既存臥位テーブルと組み合わせ出来るよう、必要に応じて本体高さ調整用のスペーサを有すること。</p> <p>3) - 8 設置に必要なLANケーブルHUB、電源タップ等を用意すること。</p>
--	--